



発行) 宗像市議会議員 岡本 陽子

自宅 福岡県宗像市自由ヶ丘 7-6-1

TEL/FAX (0940)25-5344

ホームページ <http://www.okamoto-youko.jp/>

メール info@okamoto-youko.jp

ご意見・ご要望はホームページからも投稿できます。

何でもお気軽にご相談ください。



守りたい あなたの生命生活を

平成 25 年

12月議会

一般質問

高齢者の介護予防、孤立支援の取り組みを問う

厚労省は、介護の必要度が低い「要支援1」「要支援2」と認定された人向けのサービスを、将来は介護保険制度から切り離し見直していく方針を固めました。市町村や高齢者の実状に応じた支援策を充実させるためにボランティアなどを活用した市町村の事業で支援する方向で具体策の検討も成されています。本市では65歳以上の高齢者が、全人口に占める割合は平成24年3月末で、22,307人で23.2%となり、平成23年度、本市の介護予防に関する要支援認定者数を見ると、要支援1は339名、要支援2は561名。かかる費用は、要支援1、2合わせて369,390,887円(給付費:335,742,765円)です。本市の介護保険制度は図1のようなしくみになっています。介護保険制度の改定によって、利用者に混乱が起きないようにすることが大切です。そのために市は①現在行われている事業の評価を行い、まずは必要のある事業、またそうでない事業の精査②本市の高齢者の実情に合った介護予防事業にするために要支援の50~60%を占める介護予防訪問事業、介護予防通所介護事業の地域支援事業へのスムーズな移行、認知症対策のための病院との連携、孤立支援などの地域支援事業に関われない人の対策、市の実情に応じたサービスの見直しに取り組むための準備を来年度から検討すると答弁。

議会報告会

日時:

平成26年
1月15日(水)
19:30~20:30

場所:

メイトム宗像
202会議室

◆介護保険制度における新たな地域支援事業の導入に係る意見書を提出、採択されました。◆

介護予防給付やこれまでの地域支援事業については、介護予防を進めるため市町村の現場で要支援者などに対する取り組みが進められています。また、介護予防給付を担う事業所も地域の中で育っており、大きな力となっています。こうした状況の中で、急激な制度変更は、現場の事業者や市町村に大きな混乱を生ずることになると思われます。よって国においては、十分配慮の上、特段の取り組みが図られるよう要望しました。

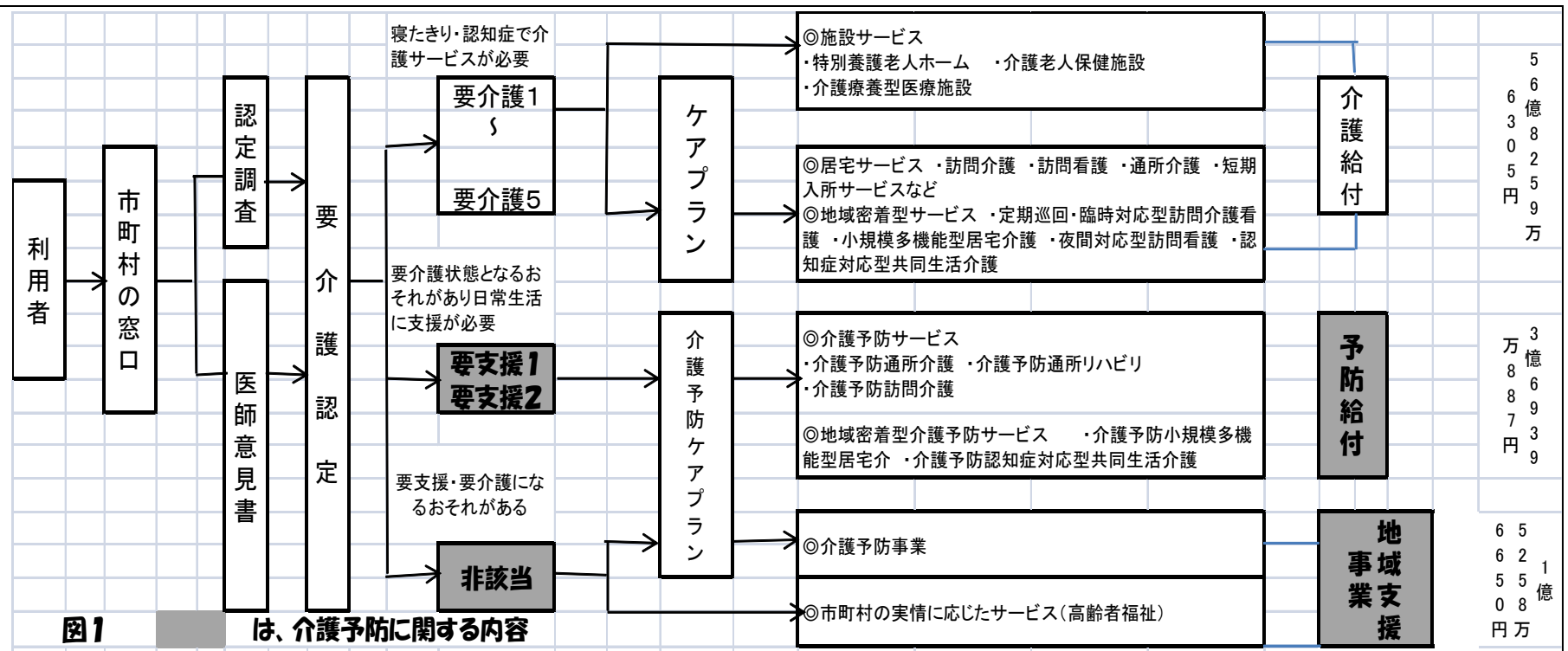


図1 は、介護予防に関する内容

12月議会トピックス

◆火葬場の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例について採択◆

(増改築に伴う使用料の見直しに伴う改正：平成26年4月1日から施行 施設使用料のみ下記に具体例を記載)

浄楽苑宗像斎場の増改築（火葬炉：小型炉3炉大型1炉→大型炉6炉に、待合室：3→5部屋に、収骨前待合室に座席整備）葬儀に関する考え方の変化（小規模で身内だけですましたい、葬儀の費用負担を減らしたい等の市民ニーズ）から家族葬室の整備、家族葬が行えるよう対応を行う。元旦、毎月第2、4週の友引日のみお休み（年304日→340日に稼働日増）

区分	待合室1	待合室2(17時から家族葬室2)		待合室3	待合室4	待合室5(17時から家族葬室1)		
単位	8:30分～17時	8:30～17時	17時～翌10:30分	8:30分～17時	8:30分～17時	8:30～17時	17時～翌10:30分	
使用料	市内居住	1,000円(2時間)	1,000円(2時間)	10,000円	1,000円(2時間)	1,000円(2時間)	1,000円(2時間)	1,500円
	市外居住	4,000円(2時間)	4,000円(2時間)	45,000円	4,000円(2時間)	4,000円(2時間)	4,000円(2時間)	6,700円

◆指定管理者の指定 12地区コミュニティセンターの指定管理者を採択◆

指定管理者の指定について審査したコミュニティセンターは次の通り

・宗像市農村女性の家	・宗像市コミュニティセンター東郷会館
・宗像市コミュニティセンター赤間会館	・宗像市コミュニティセンター日の里会館
・宗像市コミュニティセンター赤間西会館	・宗像市コミュニティセンター玄海会館
・宗像市コミュニティセンター自由ヶ丘会館	・宗像市コミュニティセンター池野会館
・宗像市コミュニティセンター河東会館	・宗像市コミュニティセンター岬会館
・宗像市コミュニティセンター南郷会館	・宗像市コミュニティセンター大島会館

コミュニティセンターは、地域住民のコミュニティ活動の拠点施設であり、地域住民が自主的に組織した団体に管理運営を委ねることを目的として整備された施設であるため、現指定管理者である各地区コミュニティ運営協議会を**非公募で選定**し、指定するものである。

(指定期間：平成26年4月1日～平成30年3月31日)

ここが聞きたい



特定秘密保護法案可決・成立。軽自動車税引き上げ、私たちの生活は本当に守られるのですか???

軽自動車税引き上げ

当初、自民党が示した案は、所得税を現行の3%から引き下げず軽自動車税は来年4月1日から1.5倍にするという内容でした。公明党は軽自動車は『庶民の足』と主張。交渉の結果、①軽自動車税の取得税は3%→2%に引き下げる。②今、所有している軽自動車の増税せず、2015年新規購入した軽自動車のみ増税(1.5倍)③軽トラ、営業用軽自動車の増税幅を1.25倍に抑えるとなりました。

“実質的に軽自動車を守ってくれた。公明党のおかげだ”と大手自動車メーカー会長が評価

特定秘密保護法案 特定秘密は、防衛、外交、スパイ防止、テロ防止の4つに限定

日本だけでなく世界各国にも、安全保障上守らなければいけない情報があります。残念ながら、日本ではそれを規制する法律がなかったために海外各国からみると「日本に情報を提供すると、それが漏れるかも知れない。」という懸念があって、本当に機微な情報が入手できたのかという課題がありました。ただし、国民が知る権利を損なわないように、どう法律に組み込んでいくかが大きな課題でした。政府の当初案を大幅に修正させて、特に国民の知る権利を守るためには報道の自由、取材の自由がきちんと守られなければいけないとし、公明党は通常の取材であれば、この法律に基づいて処罰をしないということを条文上きちんと明記させ賛成としました。



◆がん検診の啓発運動を行いました。◆

がん検診受診率向上啓発団体 シャイニングハートむなかたのメンバーと共に、福津市、宗像市2か所でがん検診啓発のチラシ400枚を配布しました。「がん検診は毎年受けています。」との声。がんの体験を持つ人からの体験を聞くなど、市民のがん検診に対する関心の高さを感じました。(10月6日実施)



出
会
い
語
ら
い

◆オレンジリボン運動を行いました。◆

宗像市、福津市、古賀市、新宮町の公明党議員7名が「子どもの虐待防止、子どもの生命は断じて守る。」と4市8か所で街頭演説を行いました。本市の平成24年度の虐待相談件数は、654件で前年より288件増えています。

(11月16日実施)

